

〈専門領域名〉

小児科

専門研修 プログラム名	川崎医科大学小児科専門研修プログラム												
連携施設群 (連携施設一 覧)	倉敷中央病院、重井医学研究所附属病院、福山市民病院、三豊総合病院、岡山医療 センター、昭和大学病院												
募集定員数	各年次 4 名						研修期間		3年間				
専門研修プロ グラムの概略	1. 専門研修プログラムの内容（概略）												
	本プログラムでは、「小児医療の水準向上・進歩発展を図り、小児の健康増進および福祉の充実に寄与する優れた小児科専門医を育成する」ことを目的とし、一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という基本的姿勢に基づいて3年間の研修を行い、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指してください。												
	専門研修1年目は川崎医科大学附属病院の小児患者を対象に感染性疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、循環器疾患、神経・筋疾患、血液腫瘍疾患、腎泌尿器疾患、内分泌代謝疾患、新生児疾患、先天異常疾患を担当医として研修し、2年目、3年目は倉敷中央病院、重井医学研究所附属病院、福山市民病院、三豊総合病院、岡山医療センターのいずれかで担当医として研修します。												
	3年間を通じ、外来での乳児健康診査と予防接種などの小児保健・社会医学の研修と、休日平日夜間小児救急センターの対応も研修します。 (昭和大学病院での研修については、事前要相談となります。)												
専門研修プロ グラムの概略	2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール												
	【川崎医科大学小児科専門研修プログラム ローターション例】												
	専攻医	1年目				2年目				3年目			
		4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～
A	①									②	①		
B	①										③	①	
C	①								④	①			
D	①						⑤						
①川崎医科大学附属病院、②重井医学研究所附属病院、③倉敷中央病院(最大6か月まで可)、 ④福山市民病院(最大6か月まで可)、⑤岡山医療センター													
専門医に必要な 要件の概略	以下に該当する医師であって、試験運営委員会の実施する筆記試験、症例要約試験、面接試験および審査に合格した者を専門医として認定する。 ・学会会員歴が連続3年以上、もしくは通算5年以上である者。 ・2年間の初期臨床研修を修了後、日本小児科学会および日本専門医機構が認定した小児科専門研修プログラムに登録の上で研修を開始し、3年間の研修を修了した者。												
プログラム 統括責任者	ふりがな 氏名	ところだに ちほ 所谷 知穂					所属・ 役職	小児科・ 特任医長					
プログラム 担当者	ふりがな 氏名	えいとく たかひろ 栄徳 隆裕					所属・ 役職	小児科・ 診療部長(教授)					
問合せ先	Tel: (086)462-1111(代表) (内線)26515 E-mail: pediatr@med.kawasaki-m.ac.jp						(部署名) 小児科学教室						